

○「網野町域の水田農業経営は集落営農より個人経営の継承か」

(京都府京丹後市網野町地区連絡会議)(令和元年10月)(第10回)

担い手への  
農地利用の  
集積・集約化

遊休農地の  
発生防止・  
解消

新規参入の  
促進

その他  
(農業委員会の  
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年10月2日 午後6時~7時30分
- 場 所: 京丹後市網野町教育会館
- 出席者: 農業委員2人、最適化推進委員4人  
委員以外: - (欠席 農業委員1名)
- 報告者: 石嶋政博 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 商業地と農業地帯(内陸の水田及び開発畑、海岸沿いの砂丘畑)に区分
- 大規模水田農家や砂丘畑の野菜農家、ハウスによる花卉農家、多頭飼育の畜産農家など農業経営体が比較的元気

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 農業委員会定例会の審議案件の概要報告と意見書の内容報告
- 形状変更の届出に関する規制強化に違法残土処理の横行懸念にいて意見交換
- 農地情報連絡調整会議での他町地区定例会の様子(農地利用状況調査の結果など)の報告
- 網野町域内の各地区の水田農業の将来に集落営農の手法は感覚的に合わないのではという感想
- 各地区で行われている現状の個人対応の経営がどこまで続くかまた継承されるのかについて意見交換
- 
- 

4 活動結果

- 情報・意見交換 1 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援